

## 首都圏直下型地震における避難者受け入れ対策

首都圏直下型地震が発生した場合、発生1日後にはおよそ460万人の避難所生活者が発生すると見込まれております。また、現在の避難所の収容力では、約49万人分の不足が発生すると見込まれております。

(「首都圏直下型地震避難対策等専門調査会報告の公表について」平成20年10月27日より)

富士河口湖町は、首都圏から約100キロと近距離にあり、強固な岩盤で支えられている、地震には強い地域です。

ホテル・旅館・民宿・キャンプ場など約4万人の宿泊者の受け入れ施設が整っております。首都圏直下型地震が起きた際には、これらの施設を避難所として提供いたします。

また、平時から交流を促進することで、避難への抵抗感の軽減と地域の観光振興につなげます。

